

(様式1)

# 平成17年度 事務事業 評価表

記入年月日	平成17年4月25日		記入者		内線	2216
部 名	総務部	課 名	総務課		課長名	今田 良
事務事業名	庁内印刷事業					
予算上の事務事業名	浄書・印刷・複写経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標						
政策名						
基本施策名	事業開始年度					
施策名	昭和63年以前 ▼					
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市公文書管理規程					
3 個別計画の概要			概要			
計画名			決裁によって確定した文書(市の意思)を相手方に通知するため、庁内で必要な数量の印刷を行うもの。			
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分			記録・統計・保存	▼		
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
	公文書の印刷業務等を効率的に進めるため、庁内にある機器で対応可能な仕様の原稿を、担当課の依頼に基づいて印刷を行うもの。 また、各担当課で印刷・丁合作業等を行う場合に、印刷室のスタッフ(正規職員2名)が機器の設定や取り扱いの説明等のサポートを行うもの。				(2) 対象(誰、何)	
					庁内印刷を利用する職員および非常勤職員	
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
	【実施方法】 通年、正規職員2名体制で、本館地下の印刷室で実施 【平成16年度事業の概要】 ・印刷件数 1,337件 ・印刷枚数 5,516千枚 ・機器の設定等のサポート件数 268件					
6 関連・類似事業や他市の状況	平成15年度に全中核市および近隣市、全39市に印刷室の状況を調査した結果によると、印刷室を設置している市の75%(24市)が市の直営で運営している。どの市も、職員の高齢化、機器の老朽化を課題として挙げていた。					
7 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	9,665	10,671	7,120	9,515	9,040	
一般財源	9,665	10,671	7,120	9,515	9,040	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	16,780	16,020	16,140	16,140	16,140	
事業コスト合計(a)	26,445	26,691	23,260	25,655	25,180	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	庁内印刷事業			対象名称(単位)	枚数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	26,445	26,691	23,260	25,655	25,180	
対象数	5,856,863	6,175,695	5,515,807	5,850,000	5,800,000	
単位あたり経費(円)	5	4	4	4	4	
前年度比		0.96	0.98	1.04	0.99	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	1枚あたりのコスト (円)	指標式と指標の説明		庁内印刷の総コスト / 庁内印刷の総枚数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	4.4	4.3
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	印刷室でのサポート (件数)	指標式と指標の説明		本館地下の印刷室において各課職員の印刷作業や丁合作業等をサポートした件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	244.0	244.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		簡易印刷機の性能が年々向上しており、これらの開発動向を見定めた上で、委託又は嘱託職員の活用を検討する。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 簡易印刷機をメイン機とし低コスト化を図る。 また、嘱託職員等を活用し、人件費の削減を図る。			14 課題として認識されたこと 現在2名の専門職員が印刷業務に従事しているが、4～6年後には定年退職を迎えることから長期的な視野にたった運営を考える必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しを進める。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			